

令和5年度 富田林市立喜志中学校運営方針

【教育理念】⇒教育計画の表紙

地域から信頼され「喜志中で学んでよかった。」と思える学校をめざして

【教育目標】⇒通知表 職員室に掲示

「心豊かに 志を持って 意欲的に学ぶ」

【生徒4大目標】

・元気なあいさつ ・5分前行動 ・もの言わぬものを大切に ・喜志中愛

【重点目標】

- (1) 学習環境及び規律を整え、指導方法を工夫して、学習活動では「教え合い・助け合い・学び合い」が活発な学習集団づくりを行い、学習指導要領が示す「主体的で対話的で深い学び」につながる授業を展開していく。
- (2) 卒業後の進路を保障するために、定期テスト、全国学テ、府チャレンジテストの結果に責任を持つ。本校の課題「学力定着の2極化」からの脱却に取り組む。また、進路指導では地元を大切にして、中高連携を進めていく。(河南・金剛)
- (3) 「喜志中愛」を柱にした学校づくりを全校挙げて推進していく。
「教え愛 助け愛 思い愛 認め愛」⇒教職員の具体的取組みは以下
 - ・全校集会、学年集会での講話
 - ・登下校及び休憩時間・昼休みの見守り 生徒との会話
 - ・悩みアンケート、ストレスチェック、カウンセリングの充実
 - ・家庭学習ノートの点検・添削
 - ・掲示物の作成 廊下の掲示 教員からのメッセージを発信
 - ・生徒会および各学年議会の取組み(キャンペーン)での啓発
- (4) 課題解決に向けて教職員が一致、徹底、継続した取組みをしていく。
 - ・不登校生への対応
 - ・学力低位層の底上げ(補充、学習会)
 - ・校舎および敷地内の環境整備
- (5) 小中連携の推進を昨年度以上に進めていく。小中教員同士の実践交流や合同研修会を持ち、教科指導の連携を進めていく。市教研A部会を単位にした研修会を持つ。また、小学校教員に本校の授業を参観してもらい討議していく。
- (6) 教職員の働き方については、業務の精選や合理化を図り、誰一人過労による心身の故障が出ないようにしていく。そのために、水曜日を「ゆとりの日」として、会議や部活のない日とする。(例外はある)
- (7) 部活動の在り方について、今後、国や府・市が示す方針を注視して、運営・改革していく。基本的に練習日の削減、練習時間の短縮を進めていく。